

一勝地小だより

<https://es.higo.ed.jp/ishouchi/>

第6号
R4.11.28発行
文責：梅本 和高



芸術の秋「ふれあい音楽会」

本年度は、これまでの「学習成果発表会」から「ふれあい音楽会」と発表内容を音楽関係に絞った発表会としました。

どの学年も、朗読劇などほかの教科で学習したことも織り交ぜながら工夫した発表を行いました。

さて、合唱では、友達の声聞きながら、合奏では、友達の演奏を聞きながら、友達の歌声や楽器の音をしっかりと聞いて、全体のリズムに合わせて、自分も声の大きさやリズムを考えていかなければなりません。一人一人の歌声や演奏があつてこそ、成り立つものです。

また、一人一人の歌声、楽器が奏でる音色がちがうからこそ、ハーモニーが生まれます。

周りの様子をしっかりと捉えて、自分がどう行動すれば良いか考える姿こそが、一勝地小学校の本年度のスローガンである「思いやりで一人一人が輝く一勝地小」が目指している姿です。音楽会の取り組みを通して、子供たちは一段と成長することができたと思います。



委員長会議プロジェクト進行中

一勝地小学校には、4～6年生の子供たちは、学年・学級の枠にとらわれず「環境・運営委員会」「放送・広報委員会」「給食委員会」「保健・体育委員会」に分かれて、学校生活をよりよくしていくための活動に取り組んでいます。

特に、各委員会の委員長は、月に1回、昼休みに校長室に集まって、「委員長会議」を行っています。委員長会議では、日頃の学校生活での課題を話し合い、解決するための方法を考えています。先月までは、「名札を付けていない人がいる」という課題を解決するために、昼の放送での呼びかけ、ポスターによる啓発、給食準備、片付けのときの声掛け、コンクールの開催・表彰など各委員会でできることを考えた「みんな、名札を付けようプロジェクト」を実施しました。

次は、「みんなが気持ちの良いあいさつをするプロジェクト」をスタートします。みんなが、どんな知恵を出してくれるか楽しみです。

一勝地小学校ピンナップ

様々な体験活動を通して、自然の大切さや地域とのつながり、社会とのつながりを学んでいます。現代は、ICTの充実が叫ばれていますが、実物を見たり、触ったりすることに勝るものではありません。様々な体験を通して豊かな学びにつなげていきたいと思ひます。

10/4 5・6年テレビ局出張講座



10/6 3年社会科見学



10/6 5年水俣に学ぶ肥後っ子教室



10/7 1・2年生活科見学



10/13~14 6年修学旅行(長崎・佐賀方面)



11/7 クリーン作戦(球泉洞清掃)

